



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

心の姿勢

校長

中庭では虫の音が聞こえ、柿の実も色づき、ようやく秋の気配を感じられるようになってきました。

9月は5年生の三浦宿泊体験学習や区役所屋上での稲刈り、3年生の神奈川県警の見学と、行事がいろいろありました。10月も、150周年記念運動会という大きな行事が待っています。同じ学年の友達だけでなく他の学年と協力して取り組む行事が増えてきますが、お互いのよいところを見つけて様々な活動に取り組めるとよいのではないかと思います。

さて、私たちは、多くの人とのつながりの中で生きていることを折に触れ今まで伝えてきました。一人一人の言動は、身近な人に影響を与え、そこからより多くの人たちへと影響が及んでいきます。しかし、どのような言動もその根本には私たち自身の「心」があります。私たちが暮らしの中で具体的な形にして表している言葉も行動も、すべては目に見えない心から生まれてくるものではないかと思います。そしてそうであるなら、私たちは日々、具体的な言動に注意を払うだけでなく、「心の姿勢」そのものにも意識を向けていく必要があるのではないのでしょうか。

学校では、日々何かしらの子ども同士のトラブルが発生します。そのトラブルは、その日その時だけのものもあるし、何日か解決できなくて続いてしまうものもあります。このような時には、担任や児童支援専任が子どもに寄り添い話を聞いて、そのトラブルを解決したり、子どもたちが安心してまた学校生活を送ることができるよう支援したりしています。時には、保護者の方に連絡をして学校と家庭で一緒に話をすることもあります。何気なく言ったことが相手を深く傷つけ教室に入りづらくさせてしまったり、自分が楽しいから相手も楽しいだろうと思い傷つけてしまったり、自分の感情に任せて相手の気持ちを汲み取ることができなくなっていたり……。相手が嫌な思いをしているということに気付かずそういった言動を繰り返すことが、いじめにつながっていきます。「日々、何を大切に思い、どのようなことを心がけ、どのような気持ちで人や社会とつながっていくのか」そうした自分自身の心の姿勢が心の成長にも影響するのではないのでしょうか。

先日、地域の会合に出席した時に、とても心温まるお話をお聞きしました。その日は、雨が急に降ってきて、話をしてくださった地域の方は傘を持っていなかったため雨に濡れていたそうです。そこに通りかかった下校中の児童が、「大丈夫ですか？僕、折り畳みの傘を持っているので貸しましょうか？」と声をかけたそうです。児童は、大きな傘をさしていたため、傘がない地域の方を見て、ランドセルに入っている折り畳みの傘を差しだそうとしたというのです。地域の方は、「ありがとう。大丈夫だよ。」と、とても感謝して別れたそうですが、その話を聞いて、そのような気遣いが自然にできる児童をととても素晴らしく思いました。

学校には地域の方から児童の下校時や放課後の遊び方についてのご意見が寄せられ、その都度児童には指導をしていますが、今回のような話も児童に紹介し、心を育てる一助としていきたいです。